

俳句会の大会賞・入選賞及び選者特選は左記の通りです。

大会賞

露座仏の空の広さよ初燕

山本 悦子

午後よりは風の木となり百千鳥

浦澤 久美子

池尻に乗込の波揉み合へる

齋藤 朗笛

入選賞

たんぽぽ野来て聖堂の大扉

加古 宗也

清明や切子光りの琵琶の湖

光田 道子

子規庵で得たる糸瓜の種を蒔く

小長 哲郎

風が風呼び花こぼす小米花

奥村 頼子

四間道にそろばんの音柳絮飛ぶ

佐藤 美恵子

暑は急に吸取紙を新しく

田辺 満穂

葉桜や募集のつづく自衛官

小澤 昭之

人と会ひ人と別れて春惜む

柴田 孝江

舐めてみる電気ブランや三鬼の忌

栗田 せつ子

伊吹嶺をはるかに置きて土筆摘む

伊藤 敬子

伊藤敬子

特選

子規庵で得たる糸瓜の種を蒔く

小長 哲朗

服部鹿頭矢

特選

磨崖仏裾を雪しろ激ちけり

朝尾 紅青子

若原康行

特選

大手門を入るや落花の只中に

丸山 美奈子

栗田やすし

特選

風が風呼び花こぼす小米花

奥村 頼子

加古宗也

特選

畦と畦つなく地獄の釜の蓋

国枝 洋子

加藤耕子

特選

清明や切子光りの琵琶の湖

光田 道子

三村純也

特選

大風に鎌倉の鳴る虚子忌かな

秋山 百合子